



# 田村市立都路中学校 学校だより 第10号

令和6年6月21日(金)  
発行責任者: 校長 佐藤 仁  
TEL: 0247-75-2009

めざす生徒像: 自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像: 志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

## 第67回福島県中学校体育大会県中地区予選大会 バレーボール競技 **第3位!** 野球競技 **第3位!**

6月18日(火)、須賀川市立第三中学校体育館を会場にバレーボール競技、円谷幸吉メモリアルアリーナを会場に卓球競技、6月19日(水)、日和田球場を会場に軟式野球競技が行われました。田村支部中体連大会を勝ち抜いたチーム、選手が勝利を目指して全力で試合にのぞみました。大会の結果は次のとおりです。

### 【女子バレーボール競技】

1 回 戦 対 守山中学校 **勝利** 2-0 (①25-12 ②25-15)  
準 決 勝 対 郡山第五中学校 **惜敗** 1-2 (①25-12 ②19-25 ③19-25)  
代表決定戦 対 郡山第一中学校 **勝利** 2-0 (①26-24 ②25-23)  
**県中地区大会第3位! 福島県中学校体育大会出場決定!**

### 【軟式野球競技】

1 回 戦 対 郡山第五中学校 **勝利** 3-2  
準 決 勝 対 郡山明健中学校 **惜敗** 0-8  
**県中地区大会第3位!**



### 【女子卓球競技シングルス】

3年生 Y・Nさん 1回戦 0-3 惜敗

田村支部大会とは違う緊張感の中で、県大会出場を目指し全力でプレーしたり応援したり、互いに励まし合ったりする選手の姿がとても素敵でした。

県大会出場権を獲得したチームも敗れたチーム、選手も大会を通して様々なことを感じたことと思います。大会を振り返った時一番強い思いは何でしょうか。主観になりますが、どの選手も思いの大きさに差はあるにせよ、「悔しさ」ではないでしょうか。



女子バレーボール競技、準決勝郡山五中戦、第1セットをよい流れで取ったにも関わらず、第2セット、第3セットを奪われ敗退しました。県中大会3位、県大会出場とは言え、「悔しさ」の残る大会だったと思います。

軟式野球競技、1回戦郡山五中との接戦を勝ち抜き、その勢いのまま準決勝明健中との試合にの

ぞみました。初回から相手チームの流れで試合が進み、一矢報いることさえできずに敗退しました。力の差を認めざるを得ない試合でした。あと1試合勝てば目標の県大会出場という場面での敗退。県中大会3位とは言え「悔しさ」の残る大会だったと思います。

女子卓球競技シングルス、相手選手は県学年別卓球大会県中地区予選大会でシードだった選手でたくさん試合運びに対応することができずに敗退という結果に終わりました。2年間積み重ねてきた技術がなかなか通用せずに「悔しさ」を感じたことと思います。

人の成長において「悔しさ」は大きな原動力になります。各部とも次に目指すところは違いますが、県中大会で心にふつつつとわいてきた「悔しさ」を忘れずに日々の生活をマネジメントし、部活動や家庭での自主練習、受験に向けた勉強などの時間を作り、地道な努力を積み重ねてほしいと思います。



【保護者の皆様、ご家族、地域の皆様へ】

平日のお忙しい中、競技会場に足を運び選手への全力応援、そして温かい励ましの言葉、試合後の慰労の言葉、大変ありがとうございました。皆様の応援が選手の戦う力になりました。

今後も様々な場面において、生徒にあたたかい励ましの言葉をかけていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



県中大会での選手のがんばりを観て、大げさな言い方かもしれませんが、「子どもには無限の可能性が秘められている」と感じました。その可能性に子ども自身が気づいていない場合があります。日々の教育活動を進める中で、私たち教員には子ども一人一人が持つ秘められた可能性を見だし、指導や支援を通して育てていく責任があるという思いを強くしました。人生100年時代となった現代において、中学校時代はわずか3年です。その3年間の中で、子ども達が自分の可能性に気づき、育み、自信を持って中学校卒業後のステージへ巣立って行けるよう、教員としての指導力を高めていきたいと思っています。